

医歯学総合研究科 口腔先端科学教育研究センター 研究助成事業  
第18回(2025(令和7)年度)口腔先端科学教育研究センター歯系研究発表会

## 応募要項

### 発表会の概要

本発表会は、国際的に通用する卓越した能力を有する若手研究者の育成を目的とし、大学院生、歯学部学生、歯系教員・医員・研究生等(以下、歯系研究者)による研究の成果を発表する場を設け、優れた発表に対して表彰状と副賞(研究助成金)を授与するものです。

- ▶ 日 時: 2025(令和7)年12月20日(土)
- ▶ 会 場: 鶴陵会館(口演:ウィリアム・ウィリスホール、ポスター:中ホール)
- ▶ 参加者: 歯系大学院生(原則として全員参加、1日通して参加した場合、**医歯学研究講義3単位**として認定)、歯学部学生、歯系研究者
  - ※全参加者には、研究発表内容に関する守秘義務が課せられます。
  - ※新型コロナウイルスの流行状況により、開催形式の変更や参加者数の制限を行う可能性があります。

- ▶ プログラム(予定): 応募数により変更されることがあります。

8:50 ~ 9:00	開会式
9:00 ~ 11:40	口演発表(※10演題予定)
11:40 ~ 12:40	昼食・休憩
12:40 ~ 13:25	口演発表(※3演題予定)
13:35 ~ 14:05	講 演
14:10 ~ 14:50	授賞式・閉会式

- ▶ 発表形式:

【口 演】 運営が準備したノートPC(Windows)を用い映写。発表9分+質疑4分(予定)。

【ポスター】 11月下旬に、PDFファイルをmanaba上に掲示し、評価者による質疑応答を行います。発表会当日は、印刷したポスター(幅110cm×高さ145cm)を鶴陵会館中ホールに掲示し、質疑応答を行います。

### 演題募集

- ▶ 応募資格: 歯系大学院生、歯学部学生、歯系研究者に限ります。大学院4年生(在籍年数が5年以上の者を含みます。以下同じ。)と同3年生は、必ず応募してください。やむを得ず応募しない場合は、所属分野の教授(不在の場合は兼任教授)から「発表辞退理由書」を提出してください(Microsoft Formsによる)。
- ▶ 発表内容: 発表者が中心となって実施した研究の成果で、学術雑誌に論文として掲載されていないか、応募1年以内(令和6年10月1日以降)に掲載又は受理されたものとし、ただし、大学院1年生と同2年生は、研究計画等でも差し支えありません。

- ▶ 発表形式：下表のとおり発表者の属性ごとに発表形式(口演かポスター)を指定していますが、応募状況によって変更をお願いすることがあります。発表に用いる言語は、日本語または英語とします。非母国語としての英語での発表は、「発表技法」の評価に加点(口演のみ;後述)しますので、積極的に行ってください。

発表者		応募	発表内容	発表形式
歯系大学院生	4年生	必須	研究成果	口演 又は ポスター
	3年生			
	2年生	任意	研究成果 又は 研究計画等	ポスター
	1年生			
歯学部学生		任意	研究成果	口演 又は ポスター
歯系研究者				

- ▶ 応募方法：演題登録フォーム(Microsoft Excel ワークブック形式)を口腔先端科学教育研究センター歯系研究発表会のウェブページ(URLは末尾に掲載)からダウンロードし、必要事項を記入してください。それを演題登録用ウェブフォルダ(鹿児島大学Web File Service受取フォルダ)へ提出してください。なお、抄録は公開に支障が無い内容にしてください。
- ▶ 応募締切：2025(令和7)年9月30日(火)午後5時 厳守

### 発表形式の決定方法

大学院4年生及び口演を希望する歯系研究者の人数の合計が口演発表の枠を超過する場合には、下記の手順により発表形式を決定いたします。

- ①演題登録時：1分野から大学院4年生が2人以上あるいは口演を希望する歯系研究者が2人以上発表する場合は、演題応募の際に大学院4年生の間、歯系研究発表者それぞれに「口演発表を行う優先順位」を演題登録フォームに記入してください。複数の者に同一順位が付されている場合は、同一順位者の中で抽選します。抽選は乱数を用いて行い、発表内容を全く考慮しません(以下同じ)。
- ②すべての歯系研究者がポスター発表を選択した場合は、口演発表の枠のすべてを大学院4年生に当てます。そうでない場合には、1枠を歯系研究者に、残りの枠を大学院4年生に当てます。
- ③全分野から優先順位が最高である大学院4年生を1人ずつ口演発表の枠に割り当てます。ただし、発表する大学院4年生が1人以上いる分野の数が口演発表の枠を超過している場合は、抽選します。
- ④枠が空いている場合は、発表する大学院4年生の人数が多い分野から2人目を割り当てます。大学院4年生の人数が同じである複数の分野の間では、抽選し順序を決めます。
- ⑤口演を行うことが決定した大学院4年生の人数が最も少ない分野から歯系研究者の発表者を選びます。口演を行う大学院4年生の人数が同じである複数の分野の間では、抽選し順序を決めます。

## 評価方法と表彰

### ▶ 発表評価:

【評 価 員】 全分野から選出された准教授以上(不在の場合は講師・助教)の教員2名(口演発表・ポスター発表各1名)が評価員となります。

【評価方法】 口演発表とポスター発表それぞれ所定の評価票に基づき「発表内容」と「発表技法」を評価します。この評価とは別に、ポスター発表については、参加者全員(発表しない者も含む)による投票で獲得票数上位の演題を発表します。

▶ 最終選考: 優秀発表の最終選考は、発表終了後に開催する口腔先端科学教育研究センター運営委員会臨時会議で行い、授賞式で選考結果を発表します。

▶ 賞・副賞 応募状況によって各賞の授賞対象者数と副賞(研究助成金)の額を変更することがあります。研究助成金は、発表者(歯学部学生の場合は指導教員)の所属分野が受領し、原則として受賞者の研究に用いるものとします。使用規則等は、科学研究費補助金に準じます。最優秀賞・優秀賞を受賞した大学院生は、次年度に開催される先端歯学スクール(先端歯学国際教育研究ネットワーク主催)への派遣候補者となります。

発表部門	賞	授 賞 対 象 者	副 賞 (研究助成金)
口 演	口腔先端科学最優秀賞	大学院生・歯系研究者から 1名	7 万円
	口腔先端科学優秀賞	大学院生・歯系研究者から 最大3名	4 万円
ポスター	口腔先端科学最優秀賞	4部門(発達系・成人系・ 口腔外科系・基礎系)から 各1名	2 万円
	口腔先端科学優秀賞	4部門(発達系・成人系・ 口腔外科系・基礎系)から 各若干名	1 万円
	口腔先端科学奨励賞	歯学部学生	—

▶ 受賞者へのお願い: 次年度に催されるオープンキャンパス、大学院説明相談会、歯系研究発表会等に関連する内容の発表をお願いすることがあります。ご協力いただければ幸いです。

## 歯系研究発表会のウェブページ

<https://w3.hal.kagoshima-u.ac.jp/ercaos/410.html>

「演題登録フォーム」のファイル(Microsoft Excel ワークブック形式)、「発表辞退理由書」および「事務局への問い合わせ」フォーム(Microsoft Forms)へのリンク等が掲載されています。

## 問い合わせ先

第18回 口腔先端科学教育研究センター歯系研究発表会 事務局(国際歯科・人間科学分野)

▶ 担当: 平間雅博

▶ 事務局代表メールアドレス: [shikei-kh@dent.kagoshima-u.ac.jp](mailto:shikei-kh@dent.kagoshima-u.ac.jp)

※お問い合わせには、電子メールではなく、歯系研究発表会のウェブページにリンクが掲載されている「事務局への問い合わせ」フォームをお使いください。ご協力をお願いします。